

第7回高知県消防広域化推進検討委員会（審議概要）

日 時：平成19年10月9日（火）09:30～11:30

場 所：高知県庁3階 防災作戦室

1. 開会

2. 議事

①第6回検討会資料のまとめについて

- ・事務局より説明。

第6回検討会資料で用いた手法によれば、1ブロック化による広域化が組織の弾力性の面などから最も効率的である。

第6回の検討会で一例として出した方面本部の是非や詳細は別として、今までの議論を振り返っていただき、広域化を進めるべきなのかどうかについて、そろそろこの委員会で方向性を出していただきたい。

《各委員の質疑・協議》

（浜口委員）

4月から月1回のペースで（検討会を）行ってきて、今日でもう7回目。

当初の予定では11月頃には方向性を出すという予定であったと思う。

私は、6回目の資料や今日の資料を見ると1ブロック化が良いとは思いますが、この委員会での共通認識を持てたら良いと思う。

（岡崎委員）

私は1ブロック化に賛成。

（夕部委員）

私は1ブロック化には疑問を感じる。反対である。

理由は、

- ・6回目の資料であった方面本部の設置には不安がある。（予備車の活用など）
- ・やはり市町村の合併に歩調を合わせた6ブロック案が良いと考える。（首長の考えに沿った方がよいと思う。）
- ・1ブロックでは災害時の市町村との連携が心配である。ことなどである。

（事務局）

・方面本部はあくまで仮定で出した話である。方面本部の賛否ではなくて、広域化そのものの議論をお願いしたい。

・災害時の市町村との連携も大きなブロックになれば難しい面もあるかもしれないが、調整は可能ではないか。広域化を否定する決定的な要因ではないと考える。

（浜田委員）

・私は1つが良いと思う。市町村合併は目前に迫っているのは事実だが、たとえ

市町村合併があったとしても広域化した方が良いと感じている。消防の他にも広域化した方が良い業務もたくさんあるし、今後もどんどん出てくると思う。消防が今の時点で最も取り組みやすく、効果が高い分野だと考える。「消防を守る」という視点からは、1ブロック以外にないと思う。

(安岡委員)

- ・1ブロックが効率はいいが、地域的なものを考えると、個人的に少し不安を感じる。
- ・災害時の対応については、今後十分検討していかなければいけない課題と思う。
- ・やはり1ブロックが理想だが、個人的には3ブロックぐらいが妥当ではないかと考えるが。

(岡崎委員)

- ・「地域的な」という意見が出たが、他県の状況をいうと、香川県（小さな県）は1ブロックのようだ。沖縄県も1ブロック、山間部の多い群馬県も1ブロック。高知は他県とは違うが、将来を考えたときは1ブロックがベターではないだろうか。

(笹岡委員)

- ・確認しておきたいが、大規模災害時の災対本部との関係、団との関係はどうなるのか。
→団は広域化の問題とは別なので、今までどおり、消防長・署長の所轄のもと活動することには変わりはない。災対本部との関係については、方面本部が連携を行うなどの方法がある。（この辺は今後詰めていかなければならない。）

(夕部委員)

- ・消防団は市町村のもとで活動するのが実態。（組織法上は事務局の言うとおりで。）

(久米委員)

- ・組織法上はそうだが、実際は市町村長の下で常備消防と協力しながら活動している。
- ・広域化については、私は、メリットを考えて広域化するわけだから、最大限メリットを得られる方がよいと思う。そのうえで方面隊などの考え方で地域性を担保すべきと思う。

(安岡委員)

- ・理想的には1つになる方向だと思うが、5年で実現というのは「しんどいな」というのが本音のところ。
- ・団の話が出ているが、やはり災害対応は市町村の業務だと思う。

(岡崎委員)

- ・四国の他県の状況はどうなっているか。
→今のところ香川以外の情報はなし。近々会合もあるのでその時に状況を聞いておく。

(夕部委員)

- ・私も5年後に1ブロックは「しんどいな」という意見と同じ。

(浜田委員)

- ・南国市の状況で申し訳ないが、実は今年の状況で言えば、来年度5人の職員の補充が必要。だが、それは他の行政需要の関係から非常に厳しい状況。今後もますます厳しさが増すだろう。職員は少なくなる傾向に変わりはない。こういう市町村の状況を考えると、5年は短いかもしれないが、一本化の方が良いと思う。課題の解決は大変だが、私はできると思う。

(岡崎委員)

- ・こういう話の時は、最初に大きく（一本化）やっておかないと後が難しくなる。鳥取県などもすでに3ブロック化されているが、そこから先（一本化）の話は全く進んでいないようだ。

(笹岡委員)

- ・ちょっと話が変わるが、例えば一本化したとき、「高幡消防組合」はどうなるのか。
→新しい組織に向けて解散となる。

(藤崎委員)

- ・私も1つにするべきと思う。6つではあまり意味がないのではないか。ただ、消防団との関係については、重々注意が必要である。（連携が粗にならないように）

(笹岡委員)

- ・私も一つが良いと思うが、気になるのは地域性の維持。それと給与や団との関係など問題が色々ある。
・もう一つ、高知市がメリットがないと言い切っている状況は課題だと思う。

(夕部委員)

- ・市町村長（の委員）にお聞きしたいが、災害対応と消防団の関係で主となる市町村は、一本化で心配はないのだろうか。それと、その他の事務組合との関係は問題ないのか（消防だけで新しい事務組合を設立することで支障はないか）

(笹岡委員)

- ・特に問題ないと考えている。組合の面でも消防だけ別に組合があっても問題はない。

(安岡・藤崎委員)

- ・笹岡委員と同じ。特に問題ない。

(根小田座長)

- ・広域化の組み合わせについては、検討会としては、1ブロック化でほぼ大勢が占められたと考えて良いと思う。少し休憩を挟んで次の議題へ行きたいと思う。

②広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する事項について岡林消防政策課長
防災に係る関係機関相互の連携の確保に関する事項についてより説明

- ・一部事務組合、広域連合、事務委託方式の概要を資料に基づき説明
- ・関係機関相互の連携の現状を説明

《各委員の質疑・協議》

(根小田座長)

- ・一部事務組合と広域連合の違いで、県が（組合又は連合に）入れるか入れないかという話があったが、実際のこととして、入った場合はどのように（どこが）違ってくるのか
 - 例えば、消防学校や航空隊を一体的に運営できるかどうかということなどが違ってくる。
- ・もう一点聞きたいが、実際問題として、事務委託方式はあり得るのか。
 - 可能性としてはある。例えば高知市に全市町村が委託するなどが考えられないことではないが、非現実的。

(中村委員)

- ・今回の連携の資料などは、平時の連携の状況のようだが、災害時の連携なども調べてもらいたい。

(根小田座長)

- ・県としては、広域連合と一部事務組合、どちらが良いかという点と広域連合の方なのか。
 - 自主性や自由度から言えばそうだが、この検討委員会で議論してもらえればと考えている。

(岡崎委員)

- ・消防団の話が出ているので聞きたいが、団員数や平均年齢などのデータはあるか。
 - 資料コピーを配布

(笹岡委員)

- ・市町村合併では、県も「当事者」という考えを打ち出しているが、消防でも当事者として関与すると考えて良いのか。
 - 現段階では何とも。各委員さんの意見を踏まえて判断させていただきたい。

(根小田座長)

- ・学校と航空隊を一緒に運営するメリットはあるのか。
 - 航空隊で言えば、出動要請がスムーズにできるだろうというのはある。学校の方は、教官の派遣という形が整理されるなど一体的な運営ができるようになるメリットはあると思うが、詳細はまだ検討できていない。
- ・財政面などで県が入るメリットはあるのか。
 - この辺りも整理できていない。今後に。

(中村委員)

- ・（根小田座長の質問に対し）県としてはもう少し考えさせて欲しい。現状で

は「市町村消防の原則」があり、財政面でも県の関与はほとんどない。内部的に調整も必要。

(笹岡委員)

- ・私は県も関与すべきと思う。

(根小田座長)

- ・県が広域に入る意味は、単なる支援なのか。

(中村委員)

- ・その辺りは考えを整理していく。

(根小田座長)

- ・本日の議論で、大勢は1ブロックによる広域化ということとなったが、今後広域化となったときの県が参画する意味なども話をして行ければと思う。